



§ Chapter 3 ゾンビのうめき声

英語は喉を開いた状態、あごに力が入った状態がデフォルトだと言いました。日本語ネイティブにとって最も難関と思われるのが、喉の奥、声帯の下あたりを鳴らす音です。先ほど例に出した二日酔いの朝の「ウツ」という声まさにこれです。この音は、英語発音において大半を占めます。まずは、音声を聞いて喉の奥を鳴らす練習をしてみましょう。


 Track2 ゾンビのうめき声(※決して音声トラブルではありません！)

ちょっとビックリしましたか？これが、喉の奥を鳴らして出した音です。いきなりこの音を出すのは、なかなか大変かもしれません。特に、声の高い女性は最初は苦しいでしょう。まずは、先ほどの、喉を開いたときに出した「ア」という音から始めて、徐々に響かせる位置を下げて行きましょう。喉仏が見えるあたりからスタートして、少しずつ少しずつ、飴玉を飲み込むように落としていき、最終的には首の付け根に到達するイメージで声を出してみましょう。これを、「エレベーター運動」と呼ぶことにします。イメージはエレベーターです。エレベーターが上から下に降りてくるように、発声を上から下に落としていきます。では、実際に聞いてください。

 Track2 エレベーター運動をしてみましょう。

ひどい風邪をひいたときに、喉の奥に痰が絡んで取れないことがありますね。で、なんとか痰を切ろうと首の付け根あたりに力を込めて「ゲホッ」と咳をしますね。あのときの、喉の奥を鳴らす感じをイメージしてください。後ほど解説しますが、多くの英語の母音、子音がこの位置で発音されます。このゾンビ声を出せるようになることは、英語ネイティブに近づくためには必須なのです。

何度も繰り返し練習して慣れるようにしてください。では、自由自在に音を出す位置を変えてみましょう。

 Track2 エレベーター運動、応用編

さて、いよいよ次の章から個々の音に入ります。準備はいいですか？